

## 千種学区の宝を探せ！！「万の富を探す会」

千種学区内には、国の指定を受けている万富東大寺瓦窯跡や県指定の宗堂桜をはじめとして田原用水、三谷公園、森林公園、曲がった鉄橋などの史跡や文化遺産が多く残っています。また、地域の伝統行事として今も大切に伝承され250年余続いている「大井村踊り」（だいむらおどり）や「虫送り」、「亥の子」などがあります。

この史跡や文化遺産、伝統行事などを後世に伝承するために「万の富を探す会」が誕生し、観光ボランティアガイド養成講座を開講しながら郷土愛を育む活動を行っています。

万の富を探す会では、4月から観光ボランティアガイド養成講座を開講し、小学生から高齢者まで30名が地域の宝を発掘するための研修をなっています。

今年1年をかけて研修を行いながら、小学生が理解できるパンフレットの作成や史跡までの案内看板を設置してウォーキングロードを整備していきます。

この会は千種学区まちづくり協議会が中心となって会を運営し、千種学区連合町内会千種小学校、万富公民館、岡山市の観光振興課、文化財課キリンビール（株）岡山工場などが協働して、学区の再発見に取り組んでいます。

この会には小学生、中学生14名が参加しており、将来の千種学区を担う人材の育成と郷土愛を育む取り組みを推進しています。

この万の富を探す会では、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の人が集まって、地域の史跡や伝統行事などを座学と現地研修を織り交ぜながら学んでいます。

特に現地研修では、史跡周辺の自然や地形などを肌で感じながら、史跡の成り立ちや当時の役割などについて研修を進めています。

今年度も万富東大寺瓦釜跡の発掘調査が行われ、新しい発見が期待されています。

発掘調査で新しい発見があるたびに、千種学区連合町内会のホームページで情報発信し、住民の皆さんはもちろん世界に向かって情報発信をしていきます。

郷土の宝を発見し、大切に守っていき、郷土愛を醸成しながら、万の富を探す会は活動していきます。



宗堂桜の現地研修

